

経営理念	<p><b>【児童一人一人が生涯にわたって、自律的によりよい生き方を目指すための基礎となる、豊かな心と確かな学力、健やかな体を身につける】</b></p> <p>学校教育目標：「かがやけ香我美！楽しい学校！～かしこく・やさしく・たくましく～」</p> <p>〈目指す児童像〉○仲間とともに伸びる子ども ○自分で考え最後までやりとげる子ども ○明るく元気な子ども ○人や自然と豊かな関わりがもてる子ども</p> <p>〈望む教師像〉○児童の心に寄り添う教師 ○豊かな教育力を持ち、児童や保護者に信頼される教師 ○協働・協調の精神、使命感ある教師</p> <p>〈求める学校像〉○授業が楽しい学校 ○仲間と集える学校 ○安心して通える学校 ○誰からも信頼される学校</p> <p>経営方針：学校教育目標に基づき、子ども自身が物事を判断し積極的かつ根気強く取組もうとする児童の育成を目指した学校経営を行う。</p> <p>〈全員が登校する学校〉 ○自他を大切にすること ○よさを認め合い折り合う</p> <p>〈授業を改善する学校〉 ○資質・能力ベースの授業づくりを目指す ○日常の授業を改善する</p> <p>〈組織力を発揮する学校〉 ○課題解決に向け組織として対応する ○集団活動を通じ生きる力を高める</p>			

中期経営目標	短期経営目標 (評価項目)	自己評価			学校関係者評価	改善策		
		評価指標	評価	評価指標に対する状況 達成◎ 課題▼				
豊かな心	<p><b>心の居場所づくり 絆づくり</b></p> <p>○自分への信頼の育成(自己指導能力の育成)</p> <p>・自尊感情と社会性、規範意識の育成</p> <p>・安定し、安全な学校生活</p> <p>○全員が登校する学校</p> <p>・児童が過ごしやすい居場所の保障</p> <p>・共感的・受容的な人間関係の育成</p> <p>○心身ともに健やかな身体づくり</p> <p>・バランスのとれた運動能力の育成</p> <p>・基本的生活習慣の定着</p>	<p>①自分自身のよさに対する自覚の向上(自尊感情・自己肯定感、規範意識、あいさつ、有用感)</p>	<p>○学校生活アンケート「学校が楽しい」肯定的回答70%以上</p> <p>○道徳調査で、「自分にはよいところがある」肯定的回答80%以上</p> <p>○学校評価で、「きまりを守っている」肯定65%以上</p>	B	<p>◎「学校が楽しい」肯定的回答86.7%(強54.6%)</p> <p>◎「自分にはよいところがある」肯定的回答82.3%(強52.3%)</p> <p>◎「きまりを守っている」肯定的回答92.8%(強70.4%)</p>	B	<p>・集会活動(長縄集会・紙飛行機大会)等子ども達がわくわくする活動を工夫している。きまりを守る姿も見られている。次年度の特別活動の活性化が期待できる。</p>	<p><b>【①④自己肯定感・特別活動】</b></p> <p>・「かがみっこノート」「言葉のシャワー」の取組継続、指導方法の工夫の共有を行う。</p> <p>・委員会活動の時間を確保し、異学年交流の発展等、活動内容の充実努める。</p> <p>・児童が企画運営する動きが見られていることから「任せる」自治活動に取り組む。</p> <p><b>【②③生徒指導・教育支援】</b></p> <p>・教職員間での共通理解の場を設定(職員会での児童理解コーナー)し、組織的な支援体制を整える。</p> <p>・全校児童にも特性理解や対応の仕方について、発達段階に応じた指導が必要である。</p> <p>・困り感のある児童への対応は保護者の理解を得ながら医療機関との連携を図っていく。</p> <p><b>【⑤運動・生活習慣】</b></p> <p>・基本的生活習慣定着に向けて取組・啓発を継続していく。</p> <p>・今の児童や保護者に合った啓発の仕方を考え、啓発の方法を工夫する。</p> <p>・持久走大会に向けて、5分間走の回数をもう少し増やす。</p> <p>・日本一周カードの改善をし、児童の運動への意欲化を図る</p> <p>・「体育、運動能力重点校」として、日常的な取組とともに体育副読本を活用し体育の授業改善に努める。</p>
		<p>②生徒指導上の諸課題改善に向けた効果的対応(長欠・不登校児童対応、問題行動発生率)</p>	<p>○新規不登校児童0名</p> <p>○重大ないじめの発生0件</p> <p>○児童の暴力行為0件</p>	B	<p>◎新規不登校児童0達成</p> <p>◎重大ないじめは0件達成</p> <p>◎暴力行為 0件達成</p>	A	<p>・生徒指導上の課題や学級経営上の不安に即対応し、取り組むことができています。児童の安定につながっている。</p>	
		<p>③特別な教育支援の必要な児童に対応する校内体制の整備・実効性のある実践(情報共有、支援委員会、校内研、Q-U、SC、SSW活用)</p>	<p>○校内支援会の開催(月1回)</p> <p>○学校生活アンケートで、学校満足度が70%以上</p> <p>○学校評価「先生は相談に答えてくれる」肯定的回答85%以上</p> <p>○学校評価で、「先生は願いや意見を聞いてくれる」肯定的回答90%以上</p>	B	<p>◎校内支援会は、32回開催</p> <p>◎「学校満足度」肯定的回答87.6%(強54.6%)</p> <p>▼「先生は相談に答えてくれる」肯定的回答80.8%(強59.2%)</p> <p>▼「先生は願いや意見を聞いてくれる」肯定的回答86.4%(強59.2%)</p>	B	<p>・教職員も大切な教育環境であることを確認し、学校体制で「相談しやすい」環境に努めてほしい。</p> <p>・支援が必要な児童への対応を細やかにしていることは評価できる。</p>	
		<p>④特別活動を中心とした絆づくりの推進(学級活動(1)、児童会、委員会、縦割り班活動)</p>	<p>○「みんなで何かをするのは楽しい」肯定的回答85%以上</p> <p>○学校評価で、保護者からの評価「子ども達はあいさつをしている」肯定的回答60%以上にする</p> <p>○児童会・委員会活動で、全校が楽しめる場を5回以上設ける</p>	B	<p>◎みんなで何かをするのは楽しい」肯定的回答94.2%(強73.6%)</p> <p>▼保護者の「あいさつ」に関する肯定的回答54.9%(16.2%)</p> <p>◎集会活動6回達成</p>	B	<p>・子ども達の受け答えが以前よりはっきり話せるようになってきている。「あいさつ運動」など児童会活動を頑張っているのを継続してほしい。</p> <p>・「あいさつ」は校内ではよくできているが、学校外ではまだ弱い。地域でもできる子になってほしい。</p>	
		<p>⑤安定した学校生活を支える多様な運動機会の提供と基本的生活習慣への全校取組(かがみ元気っ子カード、体力調査)</p>	<p>○元気っ子カードで、自分で決めた就寝時刻を守る65%以上</p> <p>○学校評価で、「学校は基本的生活習慣の定着に努めている」肯定的回答70%以上</p> <p>○全国体力・運動能力調査男女ともT得点が47点を上回る</p>	B	<p>◎就寝時間を守る72.2%</p> <p>▼基本的生活習慣の定着に努める肯定的回答68.8%(強30.1%)</p> <p>◎運動能力は男子55.3、女子49.0</p>	B	<p>・生活習慣について自分で決める取組は、自分の生活を考え、よく取組んでいる。メディア利用が生活習慣にも影響してくるので取組を継続してほしい。</p>	
確かな学力	<p><b>学びの居場所づくり</b></p> <p>○子どもが活躍する授業づくりの推進</p> <p>・基礎的・基本的な学習内容の定着</p> <p>・思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>・主体的に学習に取り組む態度の育成</p> <p>・生徒指導の3機能を生かした授業づくり</p> <p>・基礎学力の定着と体力の向上</p> <p>○学習習慣の定着</p> <p>・目的的家庭学習の提示</p>	<p>①基礎基本を培う授業(全国学力・学習状況調査、標準学力調査)</p>	<p>○全国学力・学習状況調査と標準学力調査で、全国平均並みの学力を目指す</p> <p>・全国学力調査は、国語・算数が全国平均-5P以内</p> <p>・標準学力調査は、2年～6年の国語・算数が全国平均-5P以上</p>	C	<p>◎全国学テで国算とも-2.0p</p> <p>▼県版学力調査</p> <p>4年:国語59.5(-0.9)算数49.2(-5.0)</p> <p>5年:国語66.8(-2.0)算数58.6(-1.6)</p> <p>理科70.8(-2.7)</p> <p>▼標準学力調査</p> <p>1年:国語75.8(+1.8)算数76.7(-5)</p> <p>2年:国語69.9(-6.0)算数66.0(-3.1)</p> <p>3年:国語71.6(+9.3)算数75.4(+4.5)</p> <p>6年:国語64.5(-5.4)算数59.5(-8.8)</p>	C	<p>・低学年から基礎・基本の学習定着が望まれる。「書くこと」(漢字学習など)など、こつこつ積み上げていく学習をしっかり行っていくこと。</p> <p>・担任一人の力に任せるのではなく、よい取組をしている教員をモデルに全体で取り組む体制を整えていくこと。</p>	
		<p>②自分の考えを発表して話し合ったり、練り合ったりする授業(学習アンケート、学校評価)</p>	<p>○学校評価で「勉強・運動の力が伸びている」の肯定的回答84%以上にする</p> <p>○学校評価で「授業が分かっている」の肯定的回答84%以上にする</p> <p>○学習アンケートで「思考」肯定的回答80%以上</p> <p>「協働学習」肯定的回答80%以上</p> <p>「発表」の肯定的回答70%以上</p> <p>「自分の考えを表現する」肯定的回答70%以上</p> <p>○授業でのタブレット活用状況80%以上</p>	C	<p>◎「勉強・運動の力が伸びている」肯定的回答84.8%(強52.8%)</p> <p>◎「授業が分かっている」肯定的回答88.8%(強40.%)</p> <p>▼「思考」肯定的回答82.3%(強50%)</p> <p>▼「ペア学習」75.9%(強54.3%)</p> <p>▼「発表」60.8%(強35.8%)</p> <p>▼「考えを表現する」62.5%(強36.6%)</p> <p>◎タブレット活用全学級100%活用</p>	B	<p>・自分の伸びを自覚できていることは、自信となり意欲的に取り組むことができる。</p> <p>・授業づくりに関する項目のもと「教え合う」「伝え合う」などの学習の場を保障する授業づくりを今後も継続してほしい。</p> <p>・タブレットを活用した学習は子ども達の学習意欲につながっている。</p>	
		<p>③生徒指導の3機能の視点に立った指導(授業スタンダード等を授業づくりに生かした授業改善、めあて・まとめの明示)</p>	<p>○「めあて・まとめ・振り返り」といった授業スタンダードが日頃の授業に定着している90%以上にする</p> <p>○学習アンケートで「グループで考えることが好き」の肯定的回答85%以上にする</p> <p>○学校評価で「先生は授業改善の工夫や努力をしている」肯定回答95%以上にする</p>	C	<p>▼授業スタンダードの定着約85%</p> <p>▼「グループで考える」肯定的回答76.3%(強54.3%)</p> <p>▼「授業改善に工夫・努力」肯定的回答90.4%(強68%)</p>	B	<p>・授業参観をしても「授業スタンダード」を意識して、授業を行っていることがよく分かる。</p> <p>・指標には届いていないが「工夫・努力」は評価できるので継続及び授業改善に努めてほしい。</p>	
		<p>④家庭学習の習慣化への取組(家庭学習時間・自主学習ノート展)</p>	<p>○学習アンケートで、低学年、中学年、高学年ごとの家庭学習時間が守れた割合75%以上にする</p> <p>○タブレットを家庭に持ち帰り家庭学習に活用する</p>	C	<p>▼家庭学習時間 全校68.8%(低)72.7%(中)85.1%(高)48.5%</p> <p>▼タブレット週末持ち帰りは実施 中</p>	C	<p>・タブレットを活用した家庭学習は効果的で、意欲も見られるが、学習時間の短さから学習時間や内容を検討していくことが望まれる。</p>	

信頼される学校	○保護者や地域に信頼され、期待される学校づくりの確立 ・中学校区連携 ・情報発信 ○危機管理体制の整備 ・避難訓練 ・危機管理マニュアルの修正	①保護者や地域への積極的な情報発信(学校・学年・学級だより)	○学校だよりを1月に2回以上発行 ○学級・学年だより平均月1回以上発行 ○学校評価で、「情報発信」の肯定的評価80%以上にする	A	◎学校だより月3～4回発行 ◎学年・学級だよりは月1回以上発行。低学年は毎週発行している。 ◎「情報発信」の保護者肯定的評価83.1% (強41.5%)	A	・学校、学級の方針や大事にしたいこと、子ども達の様子もよくわかり、よい「情報発信」ができています。	<b>【①②保護者・地域との連携】</b> ・地域学校協働本部事業の活性化に向けて、年間活動計画を作成し、「地域の学校」という意識を高める。 ・「すぐーる」「紙媒体」を活用し、学校の状況の細やかな発信に努める。 ・教職員が、一人一人の子どもの声(表情・しぐさ等含め)を聴き寄り添い、子ども達が安心して学校生活を送ることができるよう努める。 <b>【③④】</b> ・教師間での発言しやすい風通しのよい関係と、子ども達の状況の共有が円滑になるよう、「人・もの・こと」のよりよい教育環境づくりを行う。教員も大事な環境であることを再確認する ・教職員同士のコミュニケーションを大切に、学校で「やる気」「元気」「笑顔」が出る、安心・安全な子ども達の居場所づくりに努める。 ・不祥事防止、危機管理について「自分事」として捉えることができる研修及び訓練方法を検討し計画を立てる。
		②保護者や地域と連携した学校行事等の工夫と中学校区連携による教育活動(学校運営協議会、地域学校協働本部)	○保護者と意見交換できる場を5回以上設ける ○地域学校協働本部の活動が、のべ年130回以上・のべ600名を目指す ○香我美中学校区連携の取組は、計画の85%以上を実施する	B	◎学年・学級懇談、地区懇談会10回開催 ▼協働本部活動99回・人数のべ415名 ◎中学校区の連携は計画通り実施	B	・保護者や地域との交流の場があり取組を継続してほしい。 ・次年度は年間活動計画のもとさらに充実した活動になることを期待する。	
		③学校評価・学校関係者評価の実施(結果公表、学校運営への反映、学校運営協議会の実施)	○学校評価アンケートは計画的に実施し、結果を保護者や地域に返す ○学校評価で「保護者の意見を運営に生かす」肯定評価60%以上	B	◎学校評価アンケートは計画通り実施 ▼「保護者の意見を運営に生かす」50.7% (強18.9%)	B	・取組については計画的に行っているが、保護者の理解が得られるよう工夫していく必要がある。	
		④危機管理マニュアルの活用と危険予知能力の向上(防災・不審者訓練、安全指導・安全点検、香南地区防災訓練)	○学校評価で、「危機管理」肯定的評価90%以上にする ○設定・内容等を工夫した避難訓練を実施する	B	▼「危機管理」に関する肯定的回答 児童94.4% 保護者70.4% ◎避難訓練年間5回実施済 ◎学期ごとに安全点検の実施 ◎「危機管理マニュアル」の見直し、周知 ◎引渡し訓練の実施 ◎「不祥事防止」の計画の運用 研修及び日常的なコミュニケーション	B	・「不祥事防止」「危機管理」の取組は継続すること。特に「引き渡し訓練」の方法(場所・時期)は検討が必要である。	

【評価基準】 A：十分満足 B：おおむね満足 C：もう少し努力すべき D：大いに**努力が必要**